

Topics

■ 情報セキュリティ部門の負荷軽減事例

情報セキュリティ部門で喫緊の課題となっている脆弱性管理や退職者対応の効率化事例を公開しました。退職時には、アカウント・アクセス権の停止、データ保全・削除、ログ監査、端末やICカードの回収、業務引き継ぎなどが複数部門にまたがり、漏れや遅延が情報漏えいや監査不備につながる恐れがあります。

対策として、作業の標準化、専任組織への集約、ツールを用いた自動化・可視化が想定されます。ISMS、SOC2、PCI DSS、FISC等の基準を踏まえて証跡を確実に残すことで、IT部門の負荷軽減と内部統制・セキュリティ強化を両立します。

■ ポイント

- ・IT、人事、総務、所属部門の業務/役割分担の明確化
- ・業務の標準化とチェックリスト化
- ・専任組織や窓口の集約と一元管理
- ・ツールによる自動化・可視化
- ・監査/国際基準を踏まえた運用設計

■ 期待できる効果

- ・対応漏れや遅延の防止
- ・不要アカウントやアクセス権無効化による情報漏えい防止
- ・手作業や重複作業を減らし、IT部門や関係部門の負担軽減
- ・手順の統一化による業務品質の平準化と属人化の解消
- ・作業履歴や証跡の管理適切化による内部統制や監査対応の強化

面倒な脆弱性管理や退職者対応などをサポート 情報セキュリティ部門における負荷を大幅に軽減 NRIが自社内での取り組みで得た知見とノウハウを確認する

セキュリティと内部統制強化を担う情報セキュリティ部門にかかる負荷は増大を続けている。専任組織を設置し、脆弱性管理や退職者対応など手間のかかるオペレーションを代替することで、業務負荷軽減を図ったNRIの取り組みに注目したい。

脆弱性管理や退職者対応の効率化は喫緊の課題 タスクの整理とプロセスの標準化が解決の糸口

クラウドやAIといった先進技術の急速な進化などにより、企業のIT環境は多様化・複雑化を続けている。従業員が業務で利用するシステムやサービスが増加する一方で、働き方改革や人材流動化といった要因により、中途入社者・中途退職者も増大。システムの運用・管理を担う情報システム部門はもちろん、IT関連のセキュリティ及びガバナンス強化を担う専任組織となる情報セキュリティ部門にかかる負荷も増加の一途を辿っている。

ク)におけるセキュリティ面での支援など、さまざまな役割を担っている。人材流動化などの要因によって「退職者対応」も業務負荷が増している。昨今では、退職者の情報持ち出しによる機密情報や顧客リストの流出が問題化しており、退職者対応はセキュリティリスクの軽減という観点でも重要な意味を持つ。

とはいえ、事務処理は人事部門、業務の引継ぎなどは所属事業部、システム面での対応は情報システム部門と、行なうべき作業は複数の部門にまたがっており、そのプロセス内に情報セキュリティ部門を組み込んだとしても、関連部門の連携がなければ「抜け漏れ」が発生してしまう。たと

Event

【詳細はこちら】 <https://senjufamily.nri.co.jp/contents/solution36.html>

■ atlaX Forum2026 開催 ～AI時代の事業成長とデジタルトラスト～

AI技術は急速に進化しており、世界はいま、最先端の能力を備えたAIが次々と登場する「フロンティアAI」の時代を迎えています。

フロンティアAIは、自律的に業務を遂行するなど、企業のビジネスモデルに、大きな変革をもたらす可能性を秘めています。一方で、セキュリティリスクをはじめとする新たな課題も生み出しています。

こうしたなかで「事業成長」と「事業継続」の両立は、多くの企業にとって、重要課題となっています。本フォーラムでは、フロンティアAIの最新動向や、その技術がビジネスをどう変えていくのか、デジタルトラストの実現にむけたアプローチなどをご紹介します。

さらに、切り口の異なる3つのセッションをご用意し、NRIの専門家が解説します。

【詳細はこちら】 <https://atlaXforum2026.v2.nex-pro.com/>



atlaX Forum 2026

次代を創る フロンティアAI

AI時代の事業成長とデジタルトラスト

2026.12.9Wed

オンライン開催 13:00-16:10

主催：株式会社 野村総合研究所

■「システム運用 研修プログラム」開始

NRIのシステム運用現場で培ったノウハウをもとに整備した「システム運用 研修プログラム」を開始しました。「Process（標準化）」「People（組織改革）」「Products（自動化）」の3要素を軸に、現場で実践できる知見を体系的に提供することを目的としています。

■Process（標準化）

- 【べきべからず作成手法】 システム開発とシステム運用を行うにあたり、部門をまたいだルールを共有する意義と、その作成方法をご紹介します。
- 【なぜなぜ分析(基礎編)】 広く利用されるRCA手法である「なぜなぜ分析」をIT運用現場で実施する意義と、その実践方法をご紹介します。
- 【なぜなぜ分析(応用編)】 基礎編受講者を対象に、サンプル事象を題材に「なぜなぜ分析」を実施し、スキルとノウハウを実践的に習得していただきます。

■People（組織改革）

- 【ITSMS/ISO認証取得のポイント】 ISMS+ISO27017/ISMAP等のITサービス品質と管理体制の認証と取得に向けた具体的な対応をご紹介します。
- 【ヒューマンエラー防止講座】 品質向上活動で培ったノウハウを基に、座学・事例紹介を通じて、ヒューマンエラー防止の意識向上を目指します。
- 【赤バラ改善活動の進め方】 ボトムアップ型の改善手法と、従業員満足度（ES）向上を目指すNRI運用部門の取り組みをご紹介します。

ご興味のあるコースやご要望がありましたら、お気軽にご連絡ください。



【詳細はこちら】 <https://senjufamily.nri.co.jp/learn/workshop.html>

■ 各種イベント開催のご案内

各種イベントをオンラインにて開催しています。皆様のご参加、お待ちしております。

・ システム運用の標準化・自動化	2026年10月7日 11:00~12:00
・ Senju/SM ハンズオンセミナー	2026年10月8日 13:30~15:30
・ Senju/DC ハンズオンセミナー	2026年10月23日 10:00~15:30
・ Senju/SM ハンズオンセミナー	2026年11月11日 13:30~15:30
・ システム運用の統制強化と効率化の両立	2026年11月18日 11:00~12:00
・ Senju/DC ハンズオンセミナー	2026年11月26日 10:00~15:30
・ Senju/SM ハンズオンセミナー	2026年12月9日 13:30~15:30
・ Senju/DC ハンズオンセミナー	2026年12月23日 10:00~15:30



【詳細・お申込みはこちら】 <https://senjufamily.nri.co.jp>

日程・内容は変更されることがありますことをご了承願います。

お問合せ先：Senjuインフォメーションセンター

Tel：0120-736-580

Mail：senjuinfo@nri.co.jp

Web： <https://senjufamily.nri.co.jp>

